

1 通報状況

- ・令和2年10月26日に発生した異臭について、消防局や環境創造局に通報が寄せられたのは11時26分の金沢区瀬戸付近の1件のみ（図1）。
- ・同日11時頃～12時頃に、横須賀市や逗子市で複数通報あり。

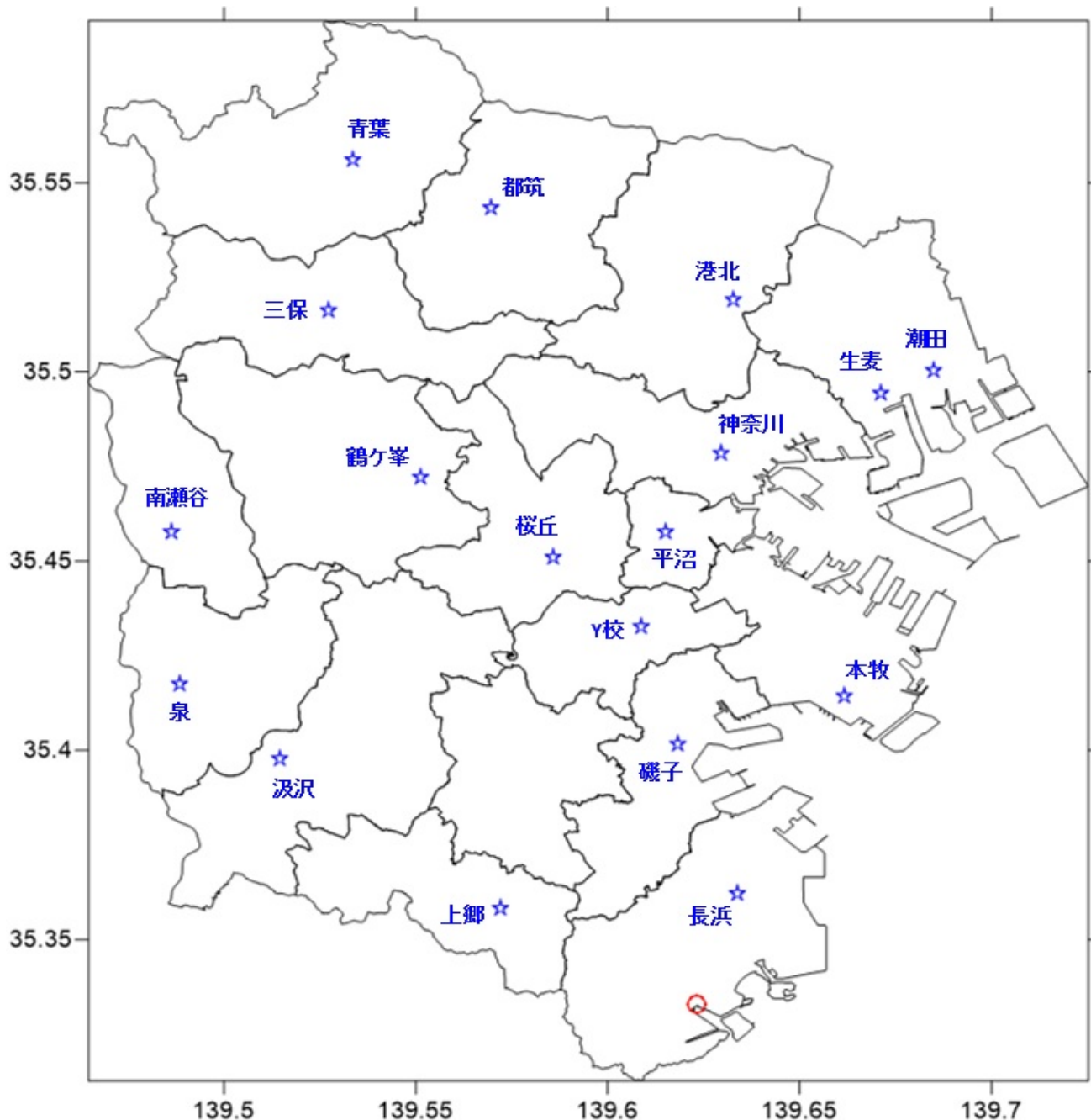


図1 異臭通報地点（☆印は一般環境大気測定局）

2 風向風速

- ・異臭の通報が寄せられた時間帯（11時台）において、一般環境大気測定局（以下、一般局）で測定した風向風速結果は図2のとおり。
- ・異臭が発生した11時台の風向は東京湾から内陸へ風が吹いていた。11時頃は比較的風が弱かったが、12時へかけて内陸で風速が強まった。
- ・異臭の通報が寄せられた時間帯（11時台）では、鶴見区潮田交流プラザ測定局の風向は南東～南、中区本牧測定局及び金沢区長浜測定局では北東～東であり、両局の風速は弱いままだった。

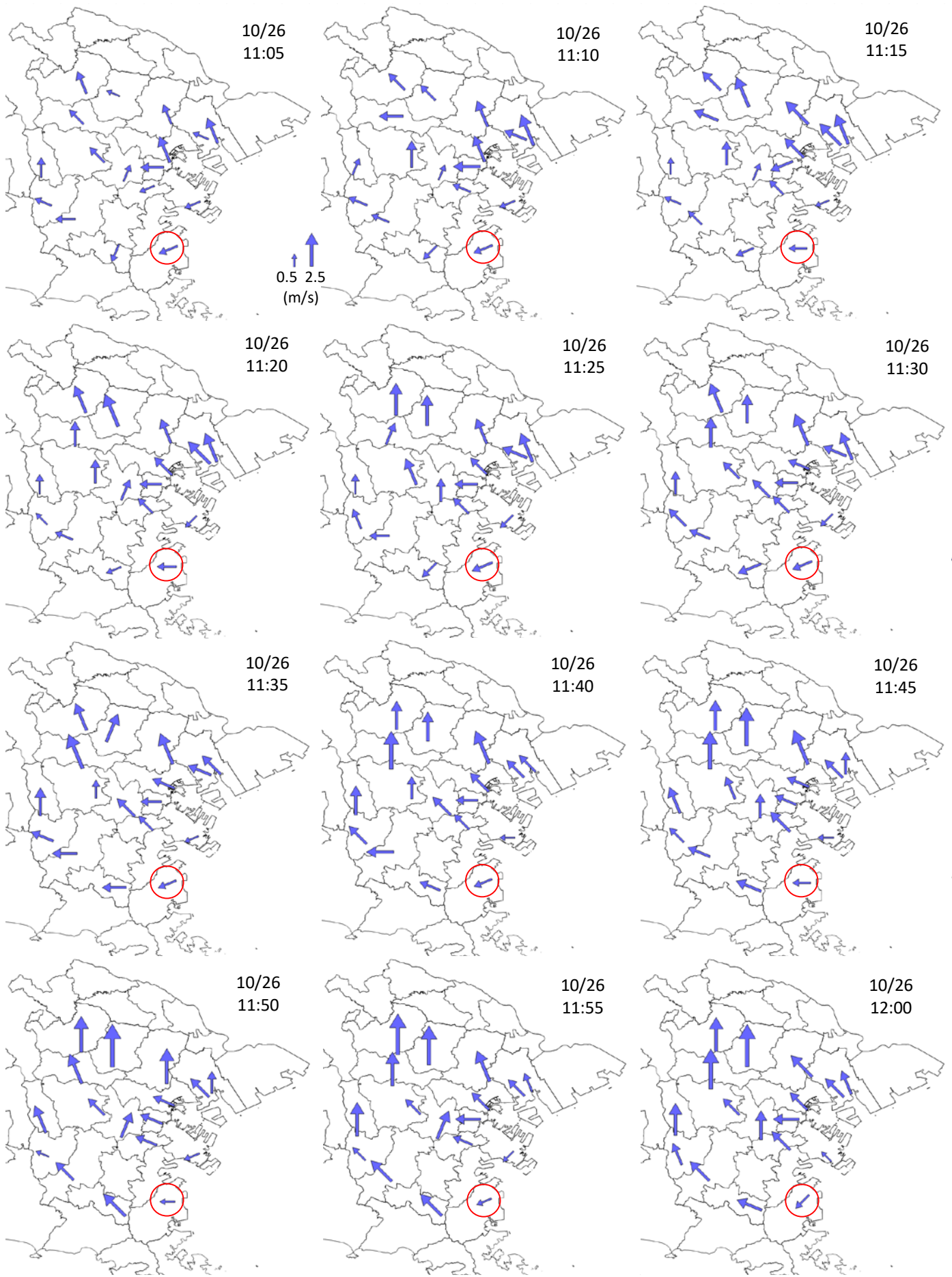


図2 異臭の通報が寄せられた時間帯の風向風速図

3 常時監視データ

- 横浜市臨海部に位置する鶴見区潮田交流プラザ測定局、中区本牧測定局、磯子区総合庁舎測定局、金沢区長浜測定局における窒素酸化物（NO、NO_x）、光化学オキシダント（O_x）及び非メタン炭化水素（NMHC）濃度の推移を図4に示す。
- 異臭の通報が寄せられた時間帯（11時台）より前の10時頃から中区本牧測定局、磯子区総合庁舎測定局、金沢区長浜測定局においてNO及びNO_x濃度が高い傾向であった。濃度推移の傾向はいずれの測定局においても異なっていた。
- 中区本牧測定局では10時台と11時台に2山のピークが見られた。一方、磯子局では10時台から徐々に濃度が上昇し、11時台にピークを迎えた後、12時にかけて徐々に減少していく様子が見られた。
- 長浜局では10時台に最もNO濃度が高く、11時を境にNO濃度が急激に減少した後、NMHC濃度が急上昇した。本牧局では同様のNMHC濃度推移は見られなかった。

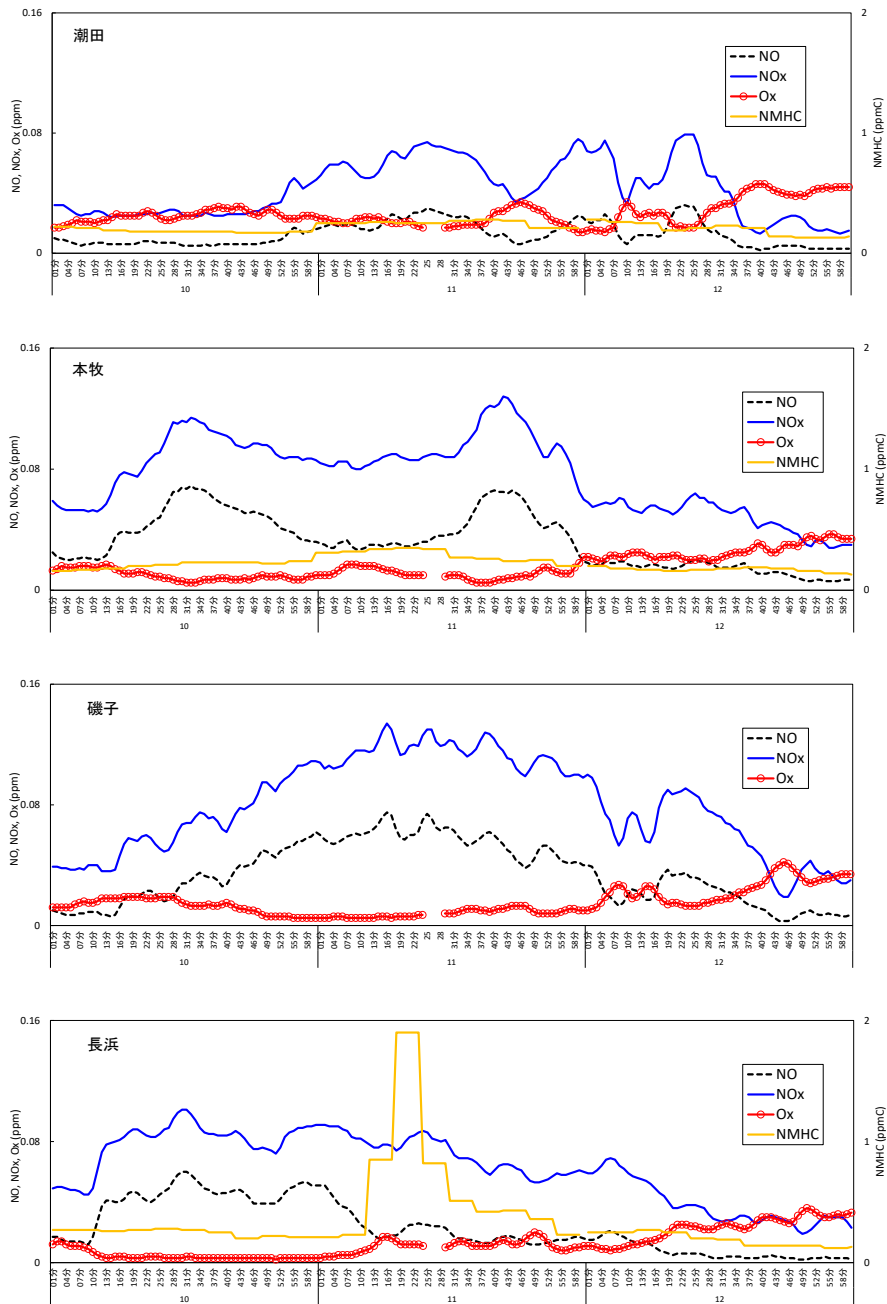


図4 NO、NO_x、O₃及びNMHC濃度推移

(鶴見区潮田交流プラザ測定局、中区本牧測定局、磯子区総合庁舎測定局、金沢区長浜測定局)